

長持の歌「これは何ゴミ?!」あいうえお

今年も梅雨入り前から猛暑続出ですね！

スイスでは温暖化の影響か?!と氷河崩落のニュース。

止むことのない戦争。地球はこの先どうなるのだろうか?と不安になります。

私は 2027 年に神奈川県で開催される「GREEN×EXPO 2027」の応援団長に昨年、就任。世界に「フラワーパワー」の思いを伝える気持ちに拍車がかかります。

私は来年末 11 月 1 日のデビュー 45 周年に向けてエンジンをかけはじめていますが、実はその場所へ思う存分進んでゆくためにもどうしてもその前に片付けておきたい作業がありました。

それは 3 年前に他界した両親の築 60 年の家の片付け。名付けて「昭和の大断捨離」。

これまで片付けたくてもその時間と勇気がなかったタンスや物置をご開帳！（笑）

物置にはかつて両親が元気だった頃、楽しんでいた盆栽や家庭菜園の肥料や薬品が頑丈な木の箱にぎっしり並んでいました。

その数に唖然！まさに昭和バブルの夢の跡。

でもそんな中、「エッ！この箱はもしや長持!?!」と目をパチクリ！（笑）

実は、昨年能登地震で被害を受けた蔵から運びだされたという、「大きな服をしまう木の箱」を利用して、生ごみをゼロにする装置、「バクテリア DE キエーロ」を被災地応援で作らせていただきました。

その箱を「長持」というそう。

お恥ずかしいのですが、その時、生まれてはじめて「長持」という言葉を私は知りました。

さすが古都の能登の長持は、地震にもビクともしないりっぱな作りでしたが、

実家のはかなり庶民的！でも「これきっと長持だ!」と思ったのです。

すごく古そう。もしかしたら前の鵜沼の家 にいた時からのものだとしたら 100 年くらいは経過している。

木は「からっから」に乾いていて、叩けば太鼓みたいがいい音！アンティークマニアの私にとってはかなりそそられる！（笑）

「そうだ！これをリビングに運んで棚にしよう!」とその時閃めいた。

早速決行！頭にほっかぶり、長年の埃を払い除け、「ヨイショ！ヨイショ！」
必死に物置から取り出し、入っていた古い薬剤も全て捨てました。
私の父は「富山生まれ」だからか、「薬」が大好きみたいで、ありとあらゆる「蚊」から「なめくじ」「シロアリ」などの殺虫剤も山のよう！
天国へ行っても尚「全くな〜」・・・とパパに文句いいながらの作業！（笑）

実は話はこれからが本題！

「これはいったい何ゴミに出すんだろう？！」とわからないものがいっぱい！
市で配布される冊子にもそこまでは細かく掲載されてないので、ネットで調べてみました。
するとさらに細かく「あいうえお」で表記されているページを見つけました！
「これは凄い！」あんなものからこんなものまで一つ一つ書いてある。
これは便利！「ハテナ？」の悩みも吹き飛びました。
メデタシメデタシ！

今回の大断捨離で、やはりスペースに限りがあるので苦渋の決断でしたが、生まれて初めて
「レコード」も捨てました。
普通のレコードはリサイクルショップに持ち込んで再発売を願います。
でも見本版だけは「転売禁止」なんです。
にもかかわらず見本版も時々、売りに出ているのには音楽家として疑問を感じちゃう！
レコード会社の皆さんにも、この盲点を知っていただき対処して欲しいです。

物置からシンプルな長持が4箱も出てきました。
その箱を庭で洗ってお日様に乾かしてリビングへ！
しかもその箱の上にお婆ちゃんの裁板を乗せてみたらいい感じ！まさに我が家の「長老物品」大集合！
次の時代へと私の音楽と共に大切なメッセージを謳ってくれる素敵な棚に大変身しました！

ゴミ収集のスタッフの、皆さんには大感謝。
60年の生活の歴史から生まれた不要なものを一気に捨てることができました。
走り去るゴミ収集車に一礼！合掌する思いでした。
でもまだまだ我が家の昭和の大断捨離は、10ラウンドにするとラウンド3くらい。
恐ろし〜い！（笑）



物置からリビングに運んだ「長持」と
お婆ちゃんの縫板



早速、長持にしまってみた譜面やレコード



能登で制作した「バクテリア de キエーロ」 現在、輪島の「茅葺庵」に展示
使用中 キエーロの生みの親松本信夫さんと共に。



京都「佛立ミュージアム」母 TSUNAGU 未来展で制作した能登のキエーロを今年5月12日の母の
日に「日本民家集落博物館」で活動されている自然大学の皆さんへ寄贈させていただきました。
式典の様様